

大都会で「日本列島クリーン大作戦」を体験!

のん
ちゃんいろいろ体験記



参加した総合子ども学科の生徒さんと教職員の皆さん



わかりやすいイラストでしっかり分別

本誌「お届けHOT便」(3頁)で紹介した、**日本児童教育専門学校**主催の「日本列島クリーン大作戦」に参加しました。清掃場所は、同校の近く都立戸山公園(新宿区)。大都会の中とは思えないほど、自然豊かで広大な公園です。受付でトングや軍手を借り、いよいよごみ拾いスタート! 一見するときれいな公園ですが、植え込みの陰には、ペットボトルやお菓子、食品の袋、たばこの吸い殻などが隠すように捨てられています。中には、ライターやガラスの破片など危険なものも。

近隣は大学や専門学校が多いエリアなので、学生が飲食をすることが多いそう。戸山公園サービスセンター長の島田陽之さんは、「公園はごみ箱を減らす傾向にあるので、ごみは各自で持ち帰る意識を持ってほしい」と話しています。1時間ほど清掃し、集まったごみは生徒さん手作りのごみ箱へ。わかりやすいイラスト付きで、小さい子どももしっかり分別できました。保育士や幼稚園教諭を目指す「子ども大好き」な生徒さんたちだけあって、子どもたちとの交流も楽しそう。教職員の皆さんとの距離も近く、和気あいあいと活動されているのが印象的でした。

クリーン大作戦は、30年以上も続く同校の伝統行事。今後も楽しく活動を続けていくてくださいね!

この日は、清掃活動だけでなく、子どもたちにSDGsについて学んでもらおうと、生徒さんたちが手作りの紙芝居を披露しました。

また、地域の子どもたちへの環境学習の一環として新宿清掃事務所の職員さんが、ごみ収集の流れや分別の大切さなどを説明してくれました。説明の際は、ごみ収集車「カッティングカー」が登場し、子どもたちは大喜び。

カッティングカーは、透明の窓になっている車の側面から、収集されたごみ袋が内部でどうなっているのかわかることができ、子どもたちは、目をキラキラさせて見入っていました。5歳以上の子は、ごみ袋を収集車の中に投げ入れる体験も。

ごみ収集をする職員さんの大変さも、少し味わうことができたかな? 子どもたちにとっては、楽しい学びの機会となりました。

SDGsについて学びの時間も



よく利用する公園を親子できれいに



生徒さんが手遊びと、SDGsについての紙芝居を披露